

## カザフスタンでクリミア・コンゴ出血熱が発生

2010年4月19日 ProMED 情報(Central Asia Online)



4月17日、地元メディア(Kazakhstan Today)によると、同国危機管理省の報告では、南カザフ州 Kazakh Oblast でクリミア・コンゴ出血熱(CCHF)により2名が死亡したとのことです。

ひとりは21才の女性で4月15日 Turkestan 市にある周産期センターで死亡しました。もうひとりは36才男性で4月15日に Kazgurt District の病院で死亡しました。

米国疾病対策センター(CDC)によると、クリミア・コンゴ出血熱はダニが媒介し、中央アジアを含む旧ソ連で発生しているとのことです。

〔ProMED 調整者〕

クリミア・コンゴ出血熱は、ウイルス性出血熱の中で最も広く分布することが知られています。本来は人獣共通感染症ですが、ヒトへの感染はしばしば散発的に発生したり大流行を引き起こしたりします。この感染症は、今回記載したカザフスタンの他に、アフリカ、ヨーロッパ、アジアの多くの国では風土病となっています。また、ヒトがかかると重症化し、約30%の高い死亡率を示します。しかしながら、家畜感染はよくみられますが、幸いにもヒトへの感染はまれです。

厚生労働省 福岡検疫所